

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 455

事務事業名	港湾建設事業
-------	--------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	河川公園課		
課長名	浦山 弘幸	内線	426
担当者名	杉本 久幸	内線	435

基本目標	050303	機能的で環境と調和したまち
政策		快適で暮らしやすい都市環境の整備
施策		公園・河川の整備
関連施策		

会計	1	一般会計
款	8	土木費
項	4	港湾費
目	2	港湾建設費
事業コード	510100	港湾建設事業

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	大村港の泊地及び港湾利用者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	大村湾の自然と親しむ人たちが利用する、港湾の泊地整備のため、プレジャーボートの所有者に係船料を納めていただき、係留場所の確保と安全性を維持し、利用者の利便を図るための整備を行う。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	県の港湾整備事業に対し、地元負担を行い、大村港内のプレジャーボート係留施設の整備及び係留の安全性を確保する。 28年度 西本町地区護岸補修外、富の原地区防塵柵、大村湾沿岸開口部対策		
事業期間	平成 16 年度 ~ 平成 29 年度	実施方法	その他

成果指標名	泊地改修率				算定式等	泊地改修率=整備済み額/全体総事業費
着手前現状値	平成 23 年度	単位	%	87		
完了後計画値	平成 29 年度			100		

【DO(実施)】

事業実施項目	25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額							
	項目別進捗率							
実施設計	実績・計画額							
	項目別進捗率							
用地・補償	実績・計画額							
	項目別進捗率							
建設工事	実績・計画額	87,805	3,050	4,303	7,271	3,645		110,015
	項目別進捗率	79.81%	82.58%	86.50%	93.10%	96.42%	96.42%	96.42%
事務費等	実績・計画額							
	項目別進捗率							
合計	実績・計画額	87,805	3,050	4,303	7,271	3,645	0	0
	項目別進捗率	79.81%	82.58%	86.50%	93.10%	96.42%	96.42%	96.42%

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	2,620	3,050	4,303	7,271	3,645	0	0	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債	1,100	1,500	2,000	3,400				
その他								
一般財源	1,520	1,550	2,303	3,871	3,645			
② 人件費(千円)	1,033	982	886	913	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)	0.13	0.13	0.12	0.12	護岸補修他			
時間外勤務(時間)	0	0	20	20				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	3,653	4,032	5,189	8,184				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	H27年 富の原地区防塵柵、大村湾沿岸開口部対策、西本町地区護岸補修外 H28年(予定) 西本町地区護岸補修外、富の原地区防塵柵、大村湾沿岸開口部対策
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	

妥当性	<b>【必要性】</b>	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	施設利用に伴う安全性の向上のため、栈橋の撤去及び堆積物の除去を含めた係留地の改修整備を行う事業は必要である。						
有効性	<b>【緊急性】</b>	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	停泊地が堆積物で浅くなったり、個人で設置した栈橋や係留地が老朽化し、侵食等で係船環が固定できない状況であるため、安全で利用しやすいように早急に整備する必要がある。						
効率性	<b>【コスト】</b>	削減の余地なし	削減の余地あり		該当なし		
	県事業であり、コスト削減に配慮しながら行っている。						
効率性	<b>【負担割合】</b>	見直しの余地なし	見直しの余地あり		該当なし		
	県が行なう建設事業の負担区分が定められており、見直しは困難である。						

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	長崎県が、西本町地区護岸補修外、富の原地区防塵柵、大村湾沿岸開口部対策を実施する為の地元負担金の支出である。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。